



消費者教育NPO法人
お金の学校
くまもと

消費者教育NPO法人

お金の学校くまもと

会報・第13号 2009年 4月発行

〒862-0950 熊本市水前寺2-21-19-2F水前寺NPOハウス TEL・FAX 096-384-4453
<http://www7a.biglobe.ne.jp/~ngaku/> gakkou@sat.bbiq.jp 発行責任者 徳村美佳

『P #dylw#kujv』 #わたしのお気に入り

代表 徳村美佳

サウンドオブミュージックという映画をご存じでしょうか。私は、この映画が大好きです。中学生のころ、音楽の授業として全校生徒で映画館に行って鑑賞しました。今思えば、なんとステキな授業だったのでしょ。この映画には、いくつも有名な歌が出てきます。ドレミの歌とか、エーデルワイスとかetc. どの曲もとってもごきげんなのですが、「電池が切れて、もうグッタリ」というときに思い出すのが、「My Favorite Things」（わたしのお気に入り）という歌です。

ある日、住み込みの家庭教師のマリアの部屋に、雷を怖がる子どもたちが次々と集まってきます。雷鳴と電光におびえる子どもたちに、マリアは「哀しいときやつらいときは楽しいことを考えましょう」と教えます。たとえば… Snowflakes that stay on my nose and eyelashes (私の鼻とまつげにつもる雪) Silver white winters that melt into springs (白銀の冬が春に変わる頃) それがわたしのお気に入り… そして、最後にこう歌います。

#

Zkq#kncj#lrv#zkq#kncj#lrv

犬が噛んだり蜂が刺したり#

Zkq#p#hncj#dg

悲しい気持ちになるときは#

#psq#hncj#lrv#zkq#kncj#lrv

私はただ 自分のお気に入りを思い出す#

Dg#kncj#lrv#zkq#kncj#lrv

そうすれば もうだいじょうぶ#

生きていれば、悲しい気持ちになることがあります。そのときに、どのくらい「わたしのお気に入り」を持っているか、持つことのできる生活環境かによって、生き方が違ってくるような気がします。

2月に実施された熊本県弁護士会主催の「消費者被害と精神疾患の関係について考えるシンポジウム～ストレス社会における消費者相談のあり方～」で講演された中島 央(ひさし)医師は、依存症について次のようなお話しをされました。「人間は月足らずで生まれたサル。もともと何かに依存しなければ生きていけない。依存症になるひとは、本来頼るべき(依存すべき) 家族や仕事や人間関係などがなく、何に頼ってよいか(依存してよいか) わからないひと。依存症にならないためには、依存する対象が幅広くあること。「依存」ということばを「支え」に置き換えて考えれば、依存症は支援不足症ではないでしょうか。

みなさんには、「わたしのお気に入り」がいくつありますか。